

資料 調査票

《男女共同参画に関する意識調査 調査票》

◆最初に、あなたご自身のことについてお聞かせください。

(1) あなたの性別をお知らせください。あてはまるものを1つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

1 男	2 女		→	回答欄 <input style="width: 80%; height: 30px;" type="text"/>
-----	-----	--	---	---

(2) あなたの年齢をお聞かせください。あてはまるものを1つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

1 20～29 歳	2 30～39 歳	3 40～49 歳		→	回答欄 <input style="width: 80%; height: 30px;" type="text"/>
4 50～59 歳	5 60～69 歳	6 70 歳以上			

(3) あなたの職業は、次のどれにあたりますか。複数の職業をお持ちの方は、主にあてはまるものを1つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

1 自営業	2 勤め人		→	回答欄 <input style="width: 80%; height: 30px;" type="text"/>
3 無職	4 その他			

(3) で「4 その他」を選んだ場合は、具体的な内容を下記にご記入ください。

(4) 失礼ですが、あなたはご結婚（事実婚※を含む）されていますか。あてはまるものを1つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

1 未婚	2 結婚している (⇒ (4) -1 へ)	3 結婚したが離別・死別		→	回答欄 <input style="width: 80%; height: 30px;" type="text"/>
------	-----------------------	--------------	--	---	---

※事実婚とは、婚姻届を出してはいないが、事実上婚姻状態にある関係。内縁と同じ意味。

(4) で「2 結婚している」を選んだ人だけお答えください。

(4) -1 あなたは、共働きですか。あてはまるものを1つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

1 共働きである	2 共働きではない	3 その他		→	回答欄 <input style="width: 80%; height: 30px;" type="text"/>
----------	-----------	-------	--	---	---

(4) -1 で「3 その他」を選んだ場合は、具体的な内容を下記にご記入ください。

(5) あなたが現在同居しているご家族の構成は次のうちどれですか。あてはまるものを1つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

- | | |
|----------|---------------|
| 1 ひとり暮らし | 2 夫婦だけの世帯 |
| 3 親と子の世帯 | 4 親と子と孫の3世代家族 |
| 5 その他 | |

回答欄

(5)で「5 その他」を選んだ場合は、具体的な内容を下記にご記入ください。

(6) あなたには、お子さんが何人いますか。あてはまるものを1つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。(同居・別居は問いません)

- | | | |
|-------|------|--------|
| 1 いない | 2 1人 | 3 2人 |
| 4 3人 | 5 4人 | 6 5人以上 |

回答欄

お子さんのいる方だけお答えください。

(7) あなたのお子さんは、次のどれにあたりますか。あてはまるものをすべて選んで、回答欄に番号をご記入ください。

- | | |
|-------|---------------|
| 1 乳幼児 | 5 大学・大学院生 |
| 2 小学生 | 6 学校を卒業(中退含む) |
| 3 中学生 | 7 その他 |
| 4 高校生 | |

回答欄

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(7)で「7 その他」を選んだ場合は、具体的な内容を下記にご記入ください。

3 ページへおすすみください

資料 調査票

◆男女の地位の平等感、男女の生き方、社会参加についておたずねします。

問1 あなたは次にあげる分野及び社会全体で、男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの感じ方に近いものをそれぞれ1つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

	1 男性が優遇されている	2 どちらかといえば男性が優遇されている	3 平等である	4 どちらかといえば女性が優遇されている	5 女性が優遇されている	6 わからない		回答欄
(1) 家庭生活において	1	2	3	4	5	6	→	<input type="text"/>
(2) 学校教育の場において	1	2	3	4	5	6	→	<input type="text"/>
(3) 職場において	1	2	3	4	5	6	→	<input type="text"/>
(4) 習慣・しきたりにおいて	1	2	3	4	5	6	→	<input type="text"/>
(5) 政治の場において	1	2	3	4	5	6	→	<input type="text"/>
(6) 法律や制度の上において	1	2	3	4	5	6	→	<input type="text"/>
(7) 自治会やNPOなどの地域活動の場において	1	2	3	4	5	6	→	<input type="text"/>
(8) 社会全体	1	2	3	4	5	6	→	<input type="text"/>

問2 女性及び男性の生き方として、あなたが望ましいと思うのは、どのような生き方でしょうか。女性の生き方、男性の生き方両方について、それぞれ1つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

【女性の生き方について】

<ol style="list-style-type: none"> 1 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念する 2 家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させる 3 家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させる 4 仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させる 5 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念する 6 わからない 	回答欄 <input style="width: 100px; height: 40px;" type="text"/>
---	---

【男性の生き方について】

<ol style="list-style-type: none"> 1 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念する 2 家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させる 3 家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させる 4 仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させる 5 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念する 6 わからない 	回答欄 <input style="width: 100px; height: 40px;" type="text"/>
---	---

問3 あなたが、次にあげるような政策、方針決定に関わる役職において、今後女性がもっと増えたほうがよいと思うものをすべて選んで、回答欄に番号をご記入ください。

回答欄

1 都道府県、市（区）町村の首長	9 労働組合の幹部	→	<table border="1"> <tbody> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>																		
2 国会議員、都道府県議会、市（区）町村議員	10 農協の役員																				
3 国家公務員、地方公務員の管理職	11 自治会、町内会の役員																				
4 裁判官、検察官、弁護士	12 PTAの役員																				
5 大学教授	13 その他																				
6 国連などの国際機関の管理職	14 今のままでよい																				
7 企業の管理職	15 わからない																				
8 起業家、経営者																					

問3で「13 その他」を選んだ場合は、具体的な内容を下記にご記入ください。

--

問4 今後、女性と男性がともに仕事、家庭、育児、介護、地域活動等に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで、回答欄に番号をご記入ください。

1 男女の役割分担についての社会通念、習慣、しきたりを改めること	→	<table border="1"> <tbody> <tr><td></td></tr> <tr><td></td></tr> <tr><td></td></tr> </tbody> </table>			
2 学校教育や生涯学習の場において、男女共同参画についての学習を充実すること					
3 男女ともに、家事などができるようなしつけや育て方をすること					
4 男性が生活面において自立できるような能力を身に付けること					
5 女性自身が経済的に自立し、社会責任を果たせるような能力を身に付けること					
6 行政や民間、地域社会などにおける政策・方針決定の場に女性を積極的に登用すること					
7 雇用機会や昇進など、職場における男女の対等な取り扱いを周知徹底すること					
8 労働時間短縮や、男女ともに取得しやすい育児、介護、ボランティア等の休暇・休業制度を普及させること					
9 年功序列、終身雇用等の従来の雇用制度を見直し、再雇用や中途採用枠の拡大など柔軟な制度を普及させること					
10 パートタイマー、派遣労働者等の労働条件を向上させること					
11 官民ともに、育児・介護に係る施設や、家事・育児・介護に係るサービス等を充実すること					
12 その他					
13 わからない					

回答欄

問4で「12 その他」を選んだ場合は、具体的な内容を下記にご記入ください。

--

資料 調査票

◆家庭・結婚観についておたずねします。

問5 あなたは家庭で、次のことについてどの程度行っていますか。あてはまるものをそれぞれ1つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

	いつもやる	分担してやる (※1)	時々やる	全くやらない	ない (※2)	自分にはあてはまらない		回答欄
※ 1 「分担してやる」 朝食は自分、夕食は他の人など、それぞれのことから曜日や時間によって分けたり、内容を分けて行っている場合など								
※ 2 「自分にはあてはまらない」 例えば「(1) 食事のしたく」では、賄い付き寮に入っているなど、自分でやる必要がない場合								
(1) 食事のしたく	1	2	3	4	5	→		
(2) 食事のあとかたづけ	1	2	3	4	5	→		
(3) 風呂場の掃除	1	2	3	4	5	→		
(4) トイレの掃除	1	2	3	4	5	→		
(5) 洗濯	1	2	3	4	5	→		
(6) ゴミを出す	1	2	3	4	5	→		
(7) ふだんの買い物	1	2	3	4	5	→		
(8) ふだんの家計管理	1	2	3	4	5	→		
(9) 地域の行事参加や近所とのつきあい	1	2	3	4	5	→		
(10) 子どもの世話や教育	1	2	3	4	5	→		
(11) 家族の介護・世話	1	2	3	4	5	→		
(12) 親戚とのつきあい	1	2	3	4	5	→		

問6 あなたは、現在の家庭生活について、どのように感じていますか。あてはまるものを2つまで選んで、回答欄に番号をご記入ください。

1 忙しい	6 のびのびできる	→	回答欄 <input style="width: 80px; height: 50px;" type="text"/>
2 疲れる	7 明るい		
3 さびしい	8 暗い		
4 ほっとする	9 その他		
5 楽しい			

問6で「9 その他」を選んだ場合は、具体的な内容を下記にご記入ください。

問7 あなたは、次にあげる項目について、1日にどの程度の時間を費やしていますか。おおよその時間をご記入ください。(就業している人は、仕事をしている日で記載してください。)

(1) 仕事 (自営業・勤め・内職など)	時間	分
(2) 家事 (炊事・洗濯など)	時間	分
(3) 育児 (授乳、オムツ換えなど)	時間	分
(4) 介護・看護	時間	分

問8 結婚、家庭、離婚に関する考え方について、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

	そう思う	どちらかといえば	どちらかといえは	そう思わない	わからない		回答欄
(1) 結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5	→	
(2) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5	→	
(3) 女性は結婚したら、自分自身より、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい	1	2	3	4	5	→	
(4) 結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない	1	2	3	4	5	→	
(5) 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4	5	→	
(6) 一般に、今の社会では離婚すると女性の方が不利である	1	2	3	4	5	→	

◆子どもの教育についておたずねします。

問9 あなたは、お子さんにどの程度の教育を受けさせたいと思いますか。ご自分に女の子と男の子がいると仮定して、あてはまるものをそれぞれ1つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

女の子の場合				回答欄
1 中学校	2 高等学校	3 各種学校・専修学校	4 短期大学	→ <input type="text"/>
5 大学	6 大学院	7 その他	8 わからない	

(問9) 女の子の場合で「7 その他」を選んだ場合は、具体的な内容を下記にご記入ください。

資料 調査票

6 ページからのつづき

男の子の場合	回答欄
1 中学校 2 高等学校 3 各種学校・専修学校 4 短期大学 5 大学 6 大学院 7 その他 8 わからない	→ <input style="width: 60px; height: 40px;" type="text"/>

(問9) 男の子の場合で「7 その他」を選んだ場合は、具体的な内容を下記にご記入ください。

◆職業観についておたずねします。

問 10 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどうか考えになりますか。あてはまるものを1つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

1 女性は職業をもたない方がよい 2 結婚するまでは職業をもつ方がよい 3 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい 4 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい 5 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい 6 その他 7 わからない	回答欄
	→ <input style="width: 60px; height: 40px;" type="text"/>

問 10 で「6 その他」を選択した場合は、具体的な内容を下記にご記入ください。

◆男女の人権（セクシュアルハラスメント／配偶者等からの暴力）についておたずねします。

問 11 あなたは、これまでに、職場や学校、地域などで、次にあげるセクシュアル・ハラスメント（セクハラ）をされたことがありますか。あてはまるものをそれぞれ1つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

※ セクシュアル・ハラスメントとは 相手を不快にさせる性的な言動。性的いやがらせ。言葉や行為による性的な働きかけだけでなく、人格を傷つける言動もこれにあたる。	されたことがある		なされたことは		回答欄
	しにだ た相 れ 談か	たな相 か談 つし			
(1) 繰り返し行われる性的な言葉がけ	1	2	3	→	
(2) お酒を飲む場での酌、デュエットなどの強要	1	2	3	→	
(3) 身体への不必要な接触	1	2	3	→	
(4) 交際の強要	1	2	3	→	
(5) 性的な関係の強要	1	2	3	→	

問 11 の (1) ~ (5) のうち、1 つでも「2 (相談しなかった)」を選んだ人だけお答えください。

問11-1 なぜ相談しなかったのか (できなかったのか) あてはまるものをすべて選んで、回答欄に番号をご記入ください。

		回答欄	
1	どこ (誰) に相談してよいのか分からなかったから		
2	恥ずかしくて誰にも言えなかったから		
3	相談してもむだだと思ったから		
4	相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどいセクハラを受けたりすると思ったから		
5	自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから		
6	世間体が悪いから		
7	他人を巻き込みたくなかったから		
8	そのことについて思い出したくなかったから		
9	自分にも悪いところがあると思ったから		
10	相談するほどのことではないと思ったから		
11	その他		

問 11-1 で「11 その他」を選んだ場合は、具体的な内容を下記にご記入ください。

--

問 12 あなたは、これまでに、職場や学校、地域などで、次にあげるセクシュアル・ハラスメント (セクハラ) をしたことがありますか。あてはまるものをそれぞれ 1 つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

	がした ある こと	はした ない こと		回答欄
(1) 性的な言葉によるからかい	1	2	→	
(2) お酒を飲む場での酌、デュエットなどの強要	1	2	→	
(3) 身体への接触	1	2	→	
(4) 交際の強要	1	2	→	
(5) 性的な関係の強要	1	2	→	

問 13 あなたは、これまでに、配偶者 (事実婚や別居、離別を含む) や恋人などのパートナーから、次にあげるようなドメスティック・バイオレンス (DV) を受けたことはありますか。あてはまるものをそれぞれ 1 つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

※ ドメスティック・バイオレンス (DV) とは

「夫婦 (恋人) 間暴力」のこと。身体に対する暴力だけでなく、以下のような心身に有害な影響を及ぼす言動は、DV であり犯罪です。

	されたこと がある		は さ れ た こ と な い		回答欄
	受 け た も と	受 け た 1 ・ 2 度			
(1) 殴る、蹴るなどの身体的暴力	1	2	3	→	
(2) 性行為の強要などの性的暴力	1	2	3	→	
(3) 大声で怒鳴るなどの精神的暴力	1	2	3	→	

	されたことがある		は され ない た こと	回答欄
	受 け た も	受 け た 1・ 2 度		
(4) 生活費を入れないなどの経済的暴力	1	2	3	→
(5) 子どもに暴力を見せるなどの子どもを巻き込んだ暴力	1	2	3	→

問 13 の (1) ~ (5) のうち、1つでも「1 (何度も受けた)」か「2 (1、2度受けた)」を選んだ人だけお答えください。

問 13-1 あなたは、これまでに、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。あてはまるものをすべて選んで、回答欄に番号をご記入ください。

		回答欄
1 警察に連絡・相談した	7 裁判所に相談した	
2 法務局、地方法務局、人権擁護委員に相談した	8 民間の専門家や専門機関（弁護士、弁護士会、民間シェルターなど）に相談した	
3 保健福祉（福祉）事務所、女性相談員に相談した	9 医療関係者に相談した	
4 女性のための相談支援センター、男女共生センターに相談した	10 家族や親戚に相談した	
5 県庁に相談した	11 友人・知人に相談した	
6 市役所、町村役場に相談した	12 その他	
	13 <u>どこ（誰）にも相談しなかった（できなかった）</u> （⇒問 13-2 へ）	

問 13-1 で「12 その他」を選んだ場合は、具体的な内容を下記にご記入ください。

問 13-1 で「13 どこ（誰）にも相談しなかった」を選んだ人だけお答えください。

問 13-2 なぜどこ（誰）にも相談しなかったのか（できなかったのか）あてはまるものをすべて選んで、回答欄に番号をご記入ください。

		回答欄
1 どこ（誰）に相談してよいのか分からなかったから		
2 恥ずかしくて誰にも言えなかったから		
3 相談してもむだだと思ったから		
4 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思ったから		
5 担当者からの言動により不快な思いをすと思ったから		
6 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから		
7 世間体が悪いから		
8 他人を巻き込みたくなかったから		
9 そのことについて思い出したくなかったから		
10 自分にも悪いところがあると思ったから		
11 相談するほどのことではないと思ったから		
12 その他		

問 13-2 で「12 その他」を選んだ場合は、具体的な内容を下記にご記入ください。

問 14 あなたは、これまでに、配偶者（事実婚や別居、離別を含む）や恋人などのパートナーに対して、次にあげるようなドメスティック・バイオレンス（DV）を行ったことはありますか。あてはまるものをそれぞれ1つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

	まったく ない	1・2 度あつた	何 度もあつた		回答欄
※ ドメスティック・バイオレンス（DV）とは 「夫婦（恋人）間暴力」のこと。身体に対する暴力だけでなく、以下のような心身に有害な影響を及ぼす言動は、DVであり犯罪です。					
(1) 殴る、蹴るなどの身体的暴力	1	2	3	→	
(2) 性行為の強要などの性的暴力	1	2	3	→	
(3) 大声で怒鳴るなどの精神的暴力	1	2	3	→	
(4) 生活費を入れないなどの経済的暴力	1	2	3	→	
(5) 子どもに暴力を見せるなどの子どもを巻き込んだ暴力	1	2	3	→	

問 15 DVなど女性に関わるさまざまな相談に応じるために、市では女性相談室を設けていますが、ご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

1 知っている	2 知らない	→	回答欄
---------	--------	---	-----

問 15で「1 知っている」を選んだ人だけお答えください。

問 15-1 女性相談室を利用したことはありますか。あてはまるものを1つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

1 利用したことがある	2 利用したことはない	→	回答欄
-------------	-------------	---	-----

全員お答えください。

問 15-2 相談しようと思った場合に利用しやすい日時・時間帯はいつですか。あてはまるものをすべて選んで回答欄に番号をご記入ください。

1 平日午前	4 土曜日午前	7 日曜日午前	→	回答欄	
2 平日午後	5 土曜日午後	8 日曜日午後			
3 平日夜間	6 土曜日夜間	9 日曜日夜間			

◆認知度、イメージ、市の施策に望むこと、その他についておたずねします。

問 16 あなたは、次の言葉をご存知ですか。あてはまるものをそれぞれ1つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

	よく知っている	少しは自身を知っている	言葉だけ聞いたことがある	まったく知らない		回答欄
(1) 男女共同参画社会	1	2	3	4	→	
(2) 男女共同参画社会基本法	1	2	3	4	→	
(3) 男女雇用機会均等法	1	2	3	4	→	
(4) 会津若松市男女共同参画推進条例	1	2	3	4	→	
(5) 会津若松市男女共同参画推進プラン改訂版	1	2	3	4	→	
(6) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律 (DV防止法)	1	2	3	4	→	

問 17 あなたは「男女共同参画」という言葉に対してどのようなイメージを持たれますか。ご自由にご記入ください。(自由記載)

問 18 「男女共同参画社会」を実現するために、会津若松市の施策に望むことは何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで、回答欄に番号をご記入ください。

<ol style="list-style-type: none"> 1 情報紙や講演会などによる男女の平等と相互理解についての啓発 2 学校などにおける男女平等教育の推進 3 社会教育・生涯学習の場での学習の充実 4 職場における男女均等な取り扱いについての周知徹底 5 保育サービスや学童保育などの子育て支援の充実 6 介護サービスの充実 7 検診体制や相談など健康に関する事業の充実 8 地域コミュニティ活動における男女共同参画の推進 9 審議会等の委員への女性の登用 10 女性の就労支援の充実 11 男女共同参画を推進する団体等の活動拠点の整備 12 その他 	<p>回答欄</p> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
--	---

問 18で「12 その他」を選んだ場合は、具体的な内容を下記にご記入ください。

--

問 19 あなたは、会津若松市のホームページの男女共同参画のページをご覧になったことがありますか。あてはまるものを1つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

- 1 よく利用している
- 2 見たことがある
- 3 見たことがない

回答欄

問 19で「3 見たことがない」を選んだ場合は、その理由を具体的にご記入ください。

問 20 あなたは、ユニバーサルデザインについて知っていますか。あてはまるものを1つ選んで、回答欄に番号をご記入ください。

- 1 考え方や意味を含めよく知っている
- 2 考え方や意味を少し知っている
- 3 考え方や意味は知らないが、言葉を聞いたことがある
- 4 知らない

回答欄

◆ ご意見・ご要望

最後に、あなたが日ごろ男女平等や男女共同参画について感じていることや、会津若松市における男女共同参画事業に関する施策等についてのご意見、ご要望等がありましたらご自由にご記入ください。

以上で質問は終わりです。

お忙しいところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに

6月22日（金曜日）までにご返送ください。